

とやまの竹資源ネットワーク 第2回講習会 しおり



美しくよみがえった竹林は、利用しながら維持していきましょう。

平成22年3月6日
於 高岡地域地場産業センター

1 趣旨

放置竹林の再生整備と拡大の防止を図るためには、竹資源の地域利用によって竹林を継続的に管理していくことが重要となっています。このため、竹林所有者や竹資源利用団体などからなる「とやまの竹資源ネットワーク」参加者を対象として竹資源の利用に必要な技術交流や意見交換などを行い竹資源の活用推進を目指しています。

2 スケジュール

| 時間 | 項目 | 講師等 |
|-------------|---------------------------|-----------------------|
| 09:30~09:35 | 開会、あいさつ | 高岡農林振興センター 森松所長 |
| 09:35~10:00 | オリエンテーション | 平野主任 林業普及指導員 |
| 10:00~10:30 | 「タケノコ生産竹林の管理について」 | 浦山 正夫 氏 |
| 10:30~10:40 | 休憩 | |
| 10:40~11:00 | 「氷見市内のタケノコ等の流通・販売の現状について」 | J A 氷見市 営農企画課 沖田課長 |
| 11:00~11:20 | 意見交換等、閉会 | |
| 11:20~12:00 | 個別相談会 | 竹材・タケノコ利用企業等 |
| 12:00 | 閉会 | |

平成21年度 竹関連活動の実施状況について

1 講習会等の開催

- (1) かぐや姫の里デビュー講座 5月9日 121名参加
竹林の整備体験、穂先タケノコの採り方、親竹の残し方等
- (2) 第1回講習会 7月11日 99名参加
とやまの竹資源ネットワーク結成式
特別講演 「富山の竹を活用する」 中央植物園 内村園長
情報提供 ヤマサン食品工業(株)、中越パルプ工業(株)
- (3) かぐや姫の里の集い 10月24日 250名参加
竹林の整理、玉伐り、竹材の収集、積込み、竹資源回収車出発式等
- (4) 第2回講習会 3月6日 90名参加見込み
講義 講師 浦山氏、情報提供 J A氷見市、出荷に関する個別相談会
- (5) その他
とやまの竹利用アイデアコンテスト 98点応募
竹材や穂先タケノコの生産に関する意向調査 25地域回答

2 取り組み状況及び成果

- (1) タケノコの利用
 - ①タケノコの生産量
 - ・H21年次 143t (5年前に比べ2倍 回復傾向)
 - ②穂先タケノコ
 - ・採取及び水煮加工 実証試験(5月21日)
→穂先40本(140kg)から60kgの水煮を試作
 - ・来春の穂先タケノコの出荷、加工、販売に向けて関係者と調整を図る
- (2) 竹材の利用
 - ①竹資源回収車(かぐやの竹舟号)による竹材の回収を開始
 - ・小矢部市論田(9月21日)、氷見市上田地区(10月24日)
 - ・高岡市山川地区及び氷見市小竹地区(11月19日) } 計 約6t
 - ②竹材を直接持ち込む取り組みを開始
 - ・県西部森林組合が、中越パルプ工業(株)へ出荷 約74t

かぐやの竹舟号

- ・竹材をパルプ原料として利用している中越パルプ工業(株)が、地域貢献として無償で各地から竹材を回収する竹資源回収用のトラックの名称
- ・名称は、社内公募により決定
- ・各地域は、無償で中越パルプ工業(株)に竹材を提供。
- ・中越パルプ工業(株)は、無償でトラックを運行。
- ・中越パルプ工業(株)は、地域に謝礼としてノート等を進呈



穂先タケノコ 採取及び水煮加工 実証試験の結果

日時 平成21年5月21日
 場所 氷見市上田地内 竹林
 氷見市森寺 井山缶詰加工場

結果：穂先タケノコ水煮生産量 約60kg 歩留まり43%(穂先タケノコ 40本 約140kg)

| 工程 | 伐採・搬出 | 生産量 | ボイル・皮むき | 整形 |
|-----|---|---|---|---|
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・採取・集竹時間 30分/5人 ・集竹距離 10~20m(林道縁)  <p>・1m程度にして40本収穫</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・2m~3mに伸びたタケノコの穂先部分を1mで伐採 ・伐採するタケノコの樹高により、硬くなる位置が変わり、加工しにくい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生産量 140kg= 40本×3.5kg/本  <p>大 5.0kg/本</p>  <p>中 3.5kg/本</p>  <p>小 2.0kg/本</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・実験用カマ容量200ℓ 1.15m*0.6m*0.3m  <ul style="list-style-type: none"> ・200ℓ窯に14本。  <ul style="list-style-type: none"> ・ボイル時間 1時間20分  <ul style="list-style-type: none"> ・皮ごとボイルすると皮むき工程が容易 ・竹は割らずにボイル。破裂しても、竹化した不可食部でおきるため問題なし ・1t釜(70本)10回転/日、2.5tボイル可能 | <ul style="list-style-type: none"> ・約60kgの穂先タケノコの水煮  <ul style="list-style-type: none"> ・1本平均1.5kg程度  <ul style="list-style-type: none"> ・穂先と根元を分けて整形  <ul style="list-style-type: none"> ・高く売れる穂先、約370g 缶詰:18ℓ缶(正味11kg)5缶 、11ℓ缶(正味5kg)1缶 ・根元の節の直下が硬い ・歩留まり 60kg/140kg=約43% ・穂先販売には、キャッチフレーズが重要 「森を守るために、このタケノコを販売しています」等 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・皮ごと運搬した方が鮮度を保てる | <ul style="list-style-type: none"> ・先端20cmは皮だけなので廃棄 | | |
| 結果等 | <ul style="list-style-type: none"> ・1時間、1人当たり、16本収穫 ・伐採するタケノコの樹高の統一が必要。2m以下など | <ul style="list-style-type: none"> ・穂先1mの平均重量3.5kg ・1日(6h)、1人当たり、96本336kg収穫可能 | | |

竹林を守り育てていくため、

竹材を集めています!

美しくよみがえった竹林を
これからも、美しいままに!

美しくよみがえった竹林は、利用しながら維持していきましょう。

竹林を利用する方法として、竹材を紙パルプの原料として利用する方法があります。

1 竹材を運搬する方法

(1) 自分達で運搬し、持ち込む場合

- 伐採した竹材は、地域住民等で運搬しチップ工場へ持ち込むと、買い取られます。
- 持ち込みができる日は、チップ工場が開いている平日 8:30～17:00となります。

注意事項

- 竹材買い取り価格は竹材の質や規格、市況により変動します。買い取り事業者へお問い合わせください。



例 軽トラ1台分350kg程度です。

(2) 自分達では輸送手段が確保できず、回収を依頼する場合

- 伐採した竹材を1箇所に集めておくと、県内のパルプ会社が回収車を運行します。
- 運行日は、各地区にあらかじめお知らせしますので、運行日に間に合うよう伐採と集積を行う必要があります。
- 回収車の運行にかかる費用は無償ですが、竹材は現金に換金されません。

注意事項

- 輸送手段が確保できない場合に限りです。
- 回収は、基本的に平日に限りです。
- 台数に限りがあるため、回収できない場合があります。



例 4 t 車1台で運搬します。

重要!!

集材の条件

- 1 竹材は、伐採してから1ヶ月以内のものに限りです。これ以上だと硬すぎて利用できません。
- 2 枯れた竹や枝・葉は利用できません。
- 3 玉切りする長さは、2m～4mの同じ長さにします。(1m以下の竹材は利用できません)
- 4 竹材の直径は5センチ以上、竹齢は1年以上必要です。
- 5 竹材は、公民館等の4tトラックが入れる場所に集めてください。

2 竹材の収集・運搬の仕方

1 地域や個人、事業者が竹を伐採します。



※竹林の整備には、里山再生整備事業等の補助事業が活用できます。

2 竹の枝を払ったうえで、2m~4mに玉伐りし、道路縁や公民館等に集めます。



3 竹材を運搬車へ積み込みます。



※地域の皆さんで積み込みます。

自分達で運搬する場合

4 地域住民等の生産者が軽トラック等でチップ工場へ運びます。



☆竹材は、時価で買い取ってもらえます。

回収を依頼する場合

4 回収車(かぐやの竹舟号 4t車)が年1~2回、竹材を運搬します。

竹活で地球を守る
かぐやの竹舟号



☆運行にかかる費用は無償

竹材の持ち込み場所

- ・竹材を運搬する場合は、中越パルプ工業(株)関連の以下のチップ工場まで運んでください。
- ・持ち込み時間等は、平日8:30~17:00となります。事前の連絡は不要です。

中越緑化(株) 富山県高岡市材木町1-6
TEL (0766)22-4172 (代表)



回収車(かぐやの竹舟号)運行の流れ

- (1) 運行日をネットワーク事務局から各地域等へFAX等で通知
- (2) 各地域等の回収要望(場所・本数)をネットワーク事務局へ回答
- (3) 回収の可否や時間を決定
- (4) 回収時間等をネットワーク事務局から各地へ通知
- (5) 各地域の皆さんが積み込みを協力
- (6) 中越パルプ工業(株)からノート等の進呈



竹資源の生産者と利用者を結びつける
とやまの竹資源ネットワーク

相談会参加企業等のご紹介

相談会は
11時20分～

中越パルプ工業株式会社

- 1 相談内容 竹材の買い取りおよび回収
- 2 取組状況 紙の原料として竹材を買い取っています。社会貢献の一環として、事前に決めた日に竹材の無料回収も行っています。
- 3 買取方法 ①場 所 中越緑化(株)チップ工場へ持ち込み
②時間帯 平日 8時30分～17時00分
③その他 事前連絡不要
- 4 買取条件 伐採後1ヶ月以内の竹材。枯れた竹や枝・葉は不可。
- 5 買取価格 市況により変動するので、相談ブースでお訪ねください。
- 6 連絡先 0766-22-4172 (代表) 担当 堀之内
住 所 〒933-0008 高岡市材木町1-6 (中越緑化(株)チップ工場)
- 7 その他 回収の要望は、ネットワーク事務局から照会します。
詳しくは相談会ブースにて、ご説明いたします。

ヤマサン食品工業株式会社

- 1 相談内容 タケノコの買い取り
- 2 取組状況 県内外からタケノコを買い取り、加工品を生産しています。
- 3 納品方法 ①場 所 射水市黒河 3197 (本社工場) へ持ち込み
②時 期 4月下旬～5月上旬
③時間帯 平日 9時～15時 (受入可能日は後日決定)
④その他 納品前日までに事前連絡が必要
- 4 買取条件 ①取引量 受入ロット (生重量) については別途相談
②小さいものや鋸傷のあるものは受入可能
③泥が混入したもの、「竹」になったもの、腐った部位があるものは受入不可
- 5 買取価格 同社、パンフレットをご覧ください。
- 6 連絡先 0766-56-4871 (ダイヤルイン) 担当 ばん沢、松下
住 所 〒939-0311 射水市黒河 3197 (本社工場)
- 7 その他 詳しくは相談会ブースにて、ご説明いたします。

井山 缶詰

- 1 相談内容 タケノコ、穂先タケノコの缶詰製造、受託加工
- 2 取組状況 買い取りは、主に市場等を通じて行っています。
穂先タケノコについては、試験的に取り扱う予定です。
- 3 連絡先 0766-72-4229 担当 井山
- 4 住所 〒935-0332 氷見市森寺 1288
- 5 その他 氷見市農業特産品推進協議会として、氷見市などで農産物・加工品直売店「おらっちゃんの店」を運営しています。
詳しくは相談会ブースにて、ご説明いたします。

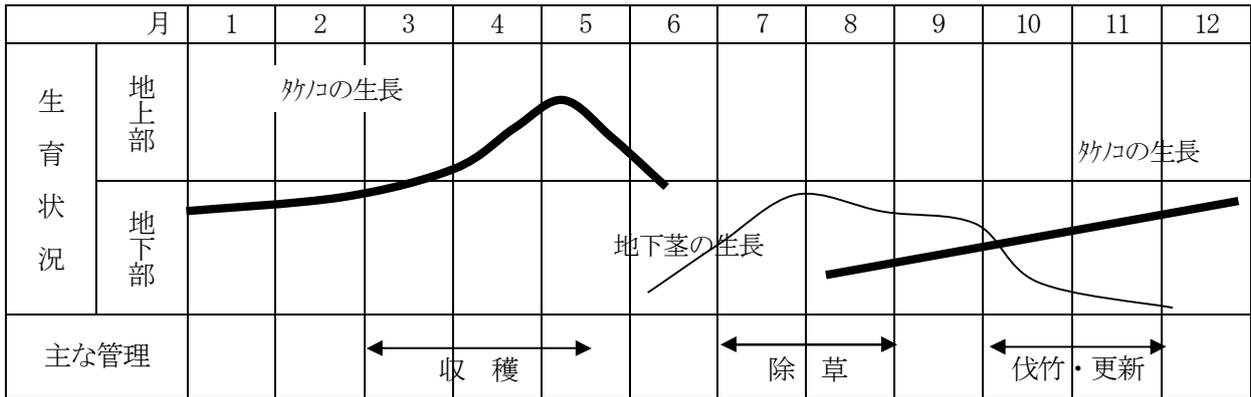
浦山 正夫

- 1 相談内容 タケノコ、穂先タケノコの缶詰製造、受託加工
- 2 取組状況 福岡町栃丘地区のタケノコを買い取っています。
他の産地のものは、受託加工を受け付けています。
穂先タケノコの受託加工も行います。
- 3 連絡先 0766-64-5061 担当 浦山
- 4 住所 〒939-0154 高岡市福岡町栃丘 1167
- 5 その他 福岡地区の相談役として、竹林の管理指導も実施
詳しくは相談会ブースにて、ご説明いたします。

J A 氷見市（氷見市農業協同組合）

- 1 相談内容 タケノコ、穂先タケノコの売買仲介
- 2 取組状況 氷見市内において、売買仲介や直売所を運営しています。
- 3 連絡先 0766-74-8861（代表） 担当
- 4 住所 〒935-0023 氷見市朝日丘 2-3 2
- 5 その他 パンフレットをご覧ください。
詳しくは井山缶詰さんの相談会ブースにて、一緒にご説明いたします。

1 タケノコの生長と主な管理



2 竹林の管理方法

